

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公表番号】特表2013-538133(P2013-538133A)

【公表日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-056

【出願番号】特願2013-518694(P2013-518694)

【国際特許分類】

B 2 9 C 59/02 (2006.01)

C 0 8 F 290/06 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 59/02 Z N M Z

C 0 8 F 290/06

H 0 1 L 21/30 5 0 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月30日(2014.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のマイクロスケール及び/又はナノスケールの表面要素を備える耐スクランチ性マイクロ構造化表面及び/又はナノ構造化表面であって、綿布及び総スタンプ重量300gを使用して、A.A.T.C.C.試験方法8-1972に従って10回の摩擦サイクルに供したときに本質的に変化せず、

1)少なくとも10%の破断点での伸長率と、

2)2%未満の不可逆的相対塑性変形(永久歪率)と、

3)少なくとも5MPaの引張強度と、を有する高分子材料を備え、

前記高分子材料が、

a)少なくとも60重量%の、ポリウレタン、ポリアクリレート、エポキシアクリレート、シリコーンアクリレート、及びポリエーテルアクリレートを含む群から選択される、1つ以上の架橋可能なオリゴマー化合物及び/又は高分子化合物と、

b)2~40重量%の、1つ以上のアクリレート基、メタクリレート基、又はビニル基を含有する紫外線硬化性モノマーの群から選択される、1つ以上の反応性希釈剤と、

c)0.05~10重量%の、シリコーン、フルオロケミカル、及び長鎖アルキル化合物を含む添加剤の群から選択される、1つ以上の疎水性添加剤と、

d)0~5重量%の1つ以上の光開始剤と、を含む、紫外線硬化性前駆体を硬化させることによって得られる、表面。

【請求項2】

複数のマイクロスケール及び/又はナノスケールの表面要素を備え、水に対して少なくとも90°の静的接触角を有する、疎水性マイクロ構造化表面及び/又はナノ構造化表面であって、

1)少なくとも10%の破断点での伸長率と、

2)2%未満の不可逆的相対塑性変形(永久歪率)と、

3)少なくとも5MPaの引張強度と、を有する高分子材料を備え、

前記高分子材料が、

- a ) 少なくとも 6 0 重量 % の、ポリウレタン、ポリアクリレート、エポキシアクリレート、シリコーンアクリレート、及びポリエーテルアクリレートを含む群から選択される、1 つ以上の架橋可能なオリゴマー化合物及び / 又は高分子化合物と、
- b ) 2 ~ 4 0 重量 % の、1 つ以上のアクリレート基、メタクリレート基、又はビニル基を含有する紫外線硬化性モノマーの群から選択される、1 つ以上の反応性希釈剤と、
- c ) 0 . 0 5 ~ 1 0 重量 % の、シリコーン、フルオロケミカル、及び長鎖アルキル化合物を含む添加剤の群から選択される、1 つ以上の疎水性添加剤と、
- d ) 0 ~ 5 重量 % の1 つ以上の光開始剤と、を含む、紫外線硬化性前駆体を硬化させることによって得られる、表面。